



ふれあい 放水路

1995

(平成7年)

第17号

8月



馬木不動尊 夏まつり 土用の丑の日(七月二十二日)

夏の夜空に花火が打ち上げられ、華やかな色が一瞬広がったと思うと、ドーンという音が体の奥まで響いてきます。

雨続きの毎日で中止が心配されましたが、この日を楽しみに待っていた人々の声が届いたのか、午後からは雨が上がり、今年も大勢の人出で賑わいました。

そもそも伝説によると、馬木の不動さまが土用の丑の日に神戸川より現れ、「土用の丑の日の丑の刻に私の仏体を神戸川の清流で洗い清めなさい。そうすれば、すべての人々の災いを払い除いて守りましょう。」と告げられたことが、この夏まつりの始まりと言われています。

以前と町並みは変わったものの、立ち並ぶ夜店に子供たちが集まり、近所の人々が浴衣姿で歩く様子は昔ながらの風情を残しています。

新内藤川・午頭川付替工事の概要

今回の新内藤川・午頭川付替工事では新内藤川水門の建設を行うために、新内藤川と午頭川を現在の川の外側に迂回させます。迂回させることにより、水門が出来る場所を一時的に陸地にして施工性を高め、水門の工事を早く終わらせることができます。

工事は8月上旬から着工し、付け替えられた2つの水路は水門の工事が終了するまでの約4年間使われ、水門が完成すると埋め戻されます。



かりしおどめせき 仮潮止堰

今回の工事で上流にある潮止堰がその機能を失い、海水が逆流するので、逆流を防止するため、一文橋水門を利用して仮潮止堰を設けます。

こうやいた 鋼矢板

川の流れを変える部分は鋼矢板(鉄の板)で補強します。

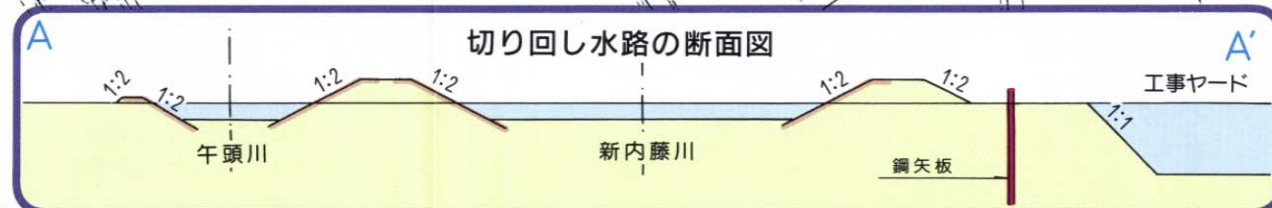
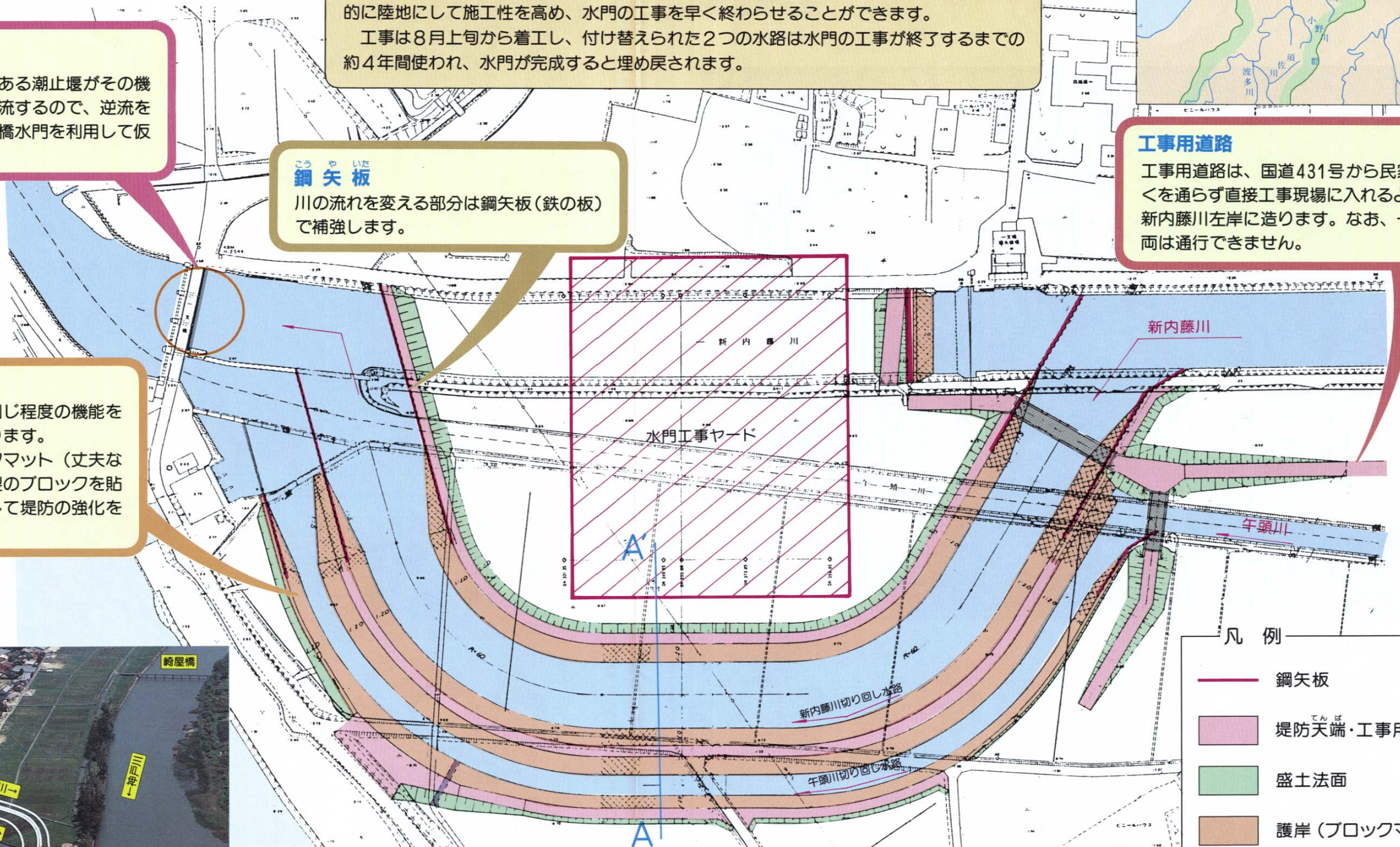
工食用道路

工食用道路は、国道431号から民家の近くを通らず直接工事現場に入れるように、新内藤川左岸に造ります。なお、一般車両は通行できません。

堤防・護岸

堤防や水路は、現況と同じ程度の機能を持つように計画してあります。

また、護岸にはブロックマット(丈夫な布の上にコンクリート製のブロックを貼り付けたもの)を使用して堤防の強化を図っています。



凡例	
	鋼矢板
	堤防天端・工食用道路
	盛土法面
	護岸(ブロックマット)
	水路
	構造物(橋・堰)

「新内藤川水門については、またの機会にお知らせします。」

工事情報

コーナー

神門地区の軟弱地盤対策工事

斐伊川放水路の工事区間のうち、拡幅部の出雲市医大南町から下流の地区は地盤が柔らかい部分があり、堤防を造ることによる影響が生じないようにするための工事を行います。

この対策工事には、地中の土をセメントで固めて柱を造る方法（平成六年六月号参照）などがありますが、今回は鋼矢板工法（鉄の板を地中に打ち込む工法）を実施しています。

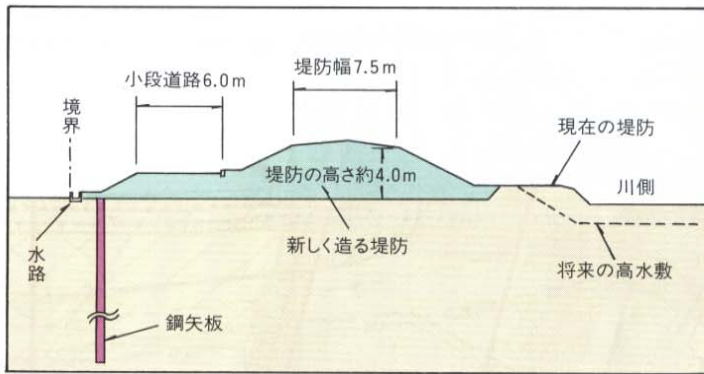
神門地区では、地中およそ二〇メートルまで鋼矢板を入れる必要があります。これには油圧装置によって押し込む方法、ハンマーを落として打ち込む方法、振動させて打ち込む方法のうち、周辺部の状況に適した方法で延長約五〇〇メートルの区間を施工します。

鋼矢板には地中の砂レキ層にあたる部分に直径一〇センチの穴を数カ所開け、地下水を遮断しないよう工夫しています。
なお、この工事は十月下旬に完了する予定です。

工事箇所



地盤改良部の断面図



8/30▶9/5
防災週間



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩治有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

このような機械で鋼矢板を振動させて打ち込む所もあります。

